

芭蕉元禄事業 奥の細道むすびの地「大垣」十六万市民俳句ポスト

平成三十年四月度 入選句（投稿総数九百七十七句・小中学投句数三百五十七句）

特選

うぐいすの声の音符をたどりつつ 千葉県印旛郡寺嶋 董(小四)

今年はうぐいすがよく鳴いているという声をよく聞きました。作者もきつとよく聞いたのでしょ
う。うぐいすの鳴き声を聞いて「音符をたどりつつ」という思いになったことはすばらしいことだ
すね。うぐいすの「鳴き声をまねてみるとか、口笛を返す」ということはよく聞きますが「音符
をたどつてみる」とはなかなか出来ないことです。どんな音符が並んだのでしょうか。ひよつとする
と作者はその音符を何かの楽器で弾いているのかもしれないですね。そんなことが想像できる楽
しい俳句です。

卒業式ぼくの歴史の一ページ 大垣市 関谷 晃介(中二)

小学校を卒業し、中学校への入学を前にした作者の心持をよく表している俳句です。入学・卒
業といえば本当に大きな出来事です。それを「歴史の一ページ」ときちつととらえたことに作者
の強い思いが表れています。これからも一つ一つの出来事を自分のこととしてきちつと捉え自分
の歴史の一ページを増やしていけることが想像できる俳句です。

はるがきたむしやどうぶつでておいで 大垣市 三ま こう生(小二)

寒かった冬も終わりやつと春らしくなったこのごろ、一年生の作者はお家の庭か野原に出て
「むしやどうぶつでておいで」と、呼びかけたのですね。その気持ち、言葉をそのまま五・七・五音
にまとめているところが楽しいです。まるで読者もその場にいるような気持ちになります。これ
からも虫や動物を好きになつて楽しい俳句を作ってください。

秀逸

春風があいさつをしにやってきた 大垣市 梅田 優有(中二)

桜まう新生活のスタートだ 大垣市 川口 菜月(中二)

卒業の朝ぼんやりとランドセル 大垣市 平田 ひなの(中二)

卒業式歌う校歌はなみだ声 大垣市 廣瀬 涼雅(中二)

さくらさく心もピンクにそまりそう 大垣市 大橋 結愛(小五)

さくらがねみんなのえがおをとりもどす 大垣市 おくだ ひなた(小二)

妹がつくしをみつけさけんだよ 大垣市 高橋 未唯南(小四)

しゃぼん玉自分の顔があわの中 大垣市 岡本 大岳(小四)

花ふぶき次々回るバレリーナ 大垣市 辻井 美葵(小四)

つばめとぶ子どものためにいそがしい 大垣市 小林 あおい(小四)

入選

登下校草かきわけてつくしんぼ	大垣市	加藤 悠花(中二)
チューリップだれがきれいかせいくらべ	大垣市	後藤 幸太郎(中二)
春の空雲一つない青空だ	大垣市	清水 咲希(中二)
夕がたも明るくなつて春近し	大垣市	田中 愛美(中二)
手のひらに桜がふわりまいおりる	大垣市	西本 多恵(中二)
さくらちりかわがびんくにそまったよ	大垣市	大橋 明紗(小二)
はるのくもふわふわするよわたあめだ	大垣市	長野 唯加(小二)
たけのこがせいくらべしてたのしそう	大垣市	子安 裕恒(小二)
チューリップかぜといっしょにおどつてる	大垣市	ひさとみ たける(小二)
かえるがねジャンプしたけどおっこちた	大垣市	こんどう なるき(小二)

入選

ぶらんこですずしいかぜがふいてくる	大垣市	西川 圭右(小二)
たんぼぼがゆらゆらおどるみんなだね	大垣市	栗田 莉沙(小二)
あつたかいほつぺをなでるはるのかぜ	大垣市	伊藤 杏(小二)
はるのくもふわつとふくらむわたあめだ	大垣市	子安 那奈(小二)
あつたかいてんとうむしがおどりだす	大垣市	日びの ゆうま(小二)
桜見て家族の心もピンク色	大垣市	加納 里菜(小五)
たんぼぼがふらふらゆれてダンスだね	大垣市	高田 琴心(小四)
つばめはねていくうひこうとくいだね	大垣市	萩原 せつな(小四)
つくしたちみんな仲良くせいくらべ	大垣市	秋山 丈(小四)
春休み校庭なんだか広くなる	愛知県一宮市	菊池 海音(小四)

選者吟

鳩が飛び風船もとび百周年
祐子